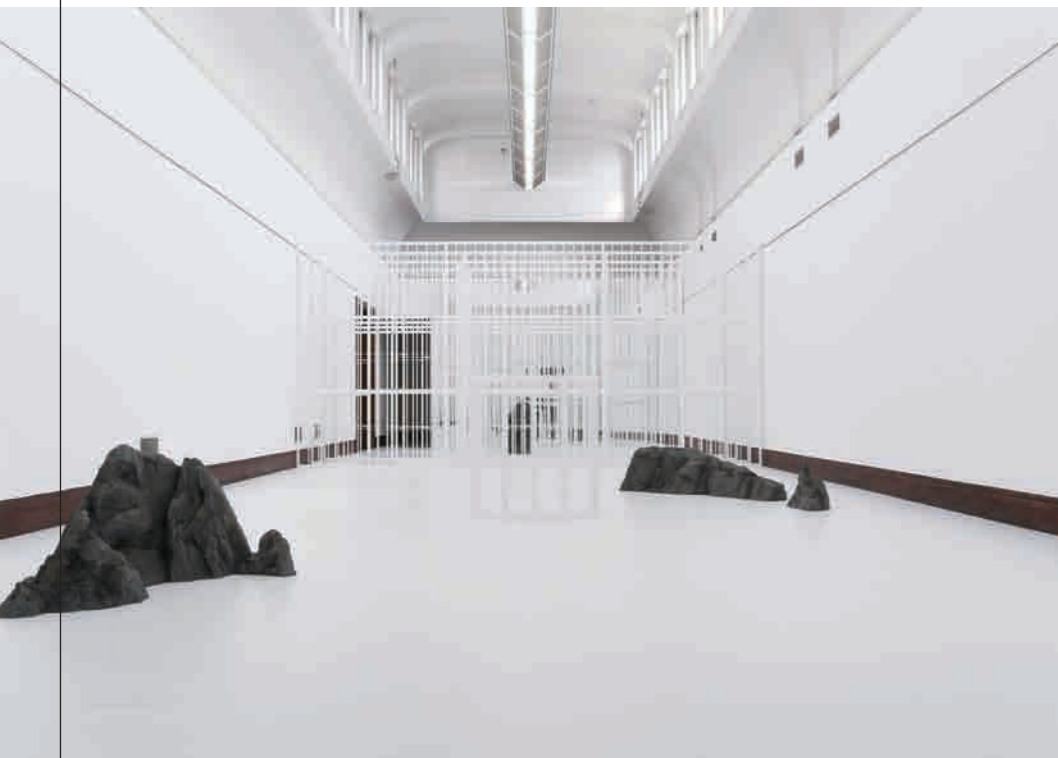


Kyoto
International
Festival
of
Contemporary
Culture

PARASOPHIA

Case of A/Being part-2

Chizuko Ueno @ Parasophia: 上野千鶴子レクチャー
おまかせ民主主義からの脱却
4月12日(日曜日)午後1時から 会場/京都市美術館



Keiko Kurachi & Satoru Takahashi, *Ornament and Crime: Sense/Common*, 2015 Photo: Takeru Koroda



Case of A/Beingについて

Parasophia Artist Program の一環として、参加作家の倉智敬子+高橋悟が開催するプログラム。

これは、出品作「装飾と犯罪：Sense/Common」プロジェクトと連環する実践でもある。

3月7日(土)には、Case of A/Being part-1として、下條信輔(カリフォルニア工科大学教授)によるレクチャー「イリュージョン、錯誤と身体のリアリティ」をPARASOPHIA ルームで開催した。

〈次回予告〉

Case of A/Being part-3

Shing02 @ Parasophia: Shing02 ライブパフォーマンス「休日の憲法」

5月3日(日) 会場：京都市美術館 前庭

PARASOPHIA: 京都国際現代芸術祭 2015

Case of A/Being part-2



PARASOPHIA イベント情報 <http://www.parasophia.jp/events/>

Chizuko Ueno @ Parasophia: 上野千鶴子レクチャー
おまかせ民主主義からの脱却
4月12日(日曜日) 午後1時から 会場/京都市美術館

●第一部 上野千鶴子講演
時間/午後1時より 会場/京都市美術館 参加料/無料

●第二部 オープンデイスカッション
「上野千鶴子+一般参加の方々」(進行:倉智敬子+高橋悟)
時間/午後2時45分より
会場/京都市美術館 210号室「装飾と犯罪: Sense/Common」
参加料/要 PARASOPHIA 入場チケット
定員/100名 ※午前10時からインフォメーションにて整理券配布

地球的規模で不穏なナショナリズムやナンセンスが進行する中、制度・国境・人種・性別を越えた新しい市民主体の活動について考える。

上野千鶴子 Chizuko Ueno

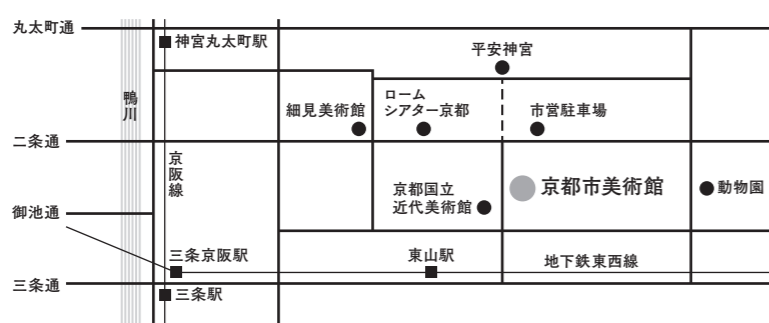
東京大学名誉教授、立命館大学大学院先端総合学術研究科特別招聘教授、NPO法人ウィメンズアクションネットワーク(WAN)理事長。日本を代表する社会学者。理論研究と並行し、政治、ジェンダー、介護など現代が抱える問題について幅広い発信と活動を行う。著書として「選憲論」、「おひとりさまの老後」、「国境お構いなし」、「サヨナラ学校化社会」、「近代家族の成立と終焉」(サントリイ学芸賞) など多数。

倉智敬子+高橋悟 Keiko Kurachi & Satoru Takahashi

「生存の技法(私たちが生きてゆく為の創造的な技術)」という視点から身体・知覚・言語の関係を再配置し、医療・生命・環境や制度を包括する芸術の研究・制作のプロジェクトを、カリフォルニア工科大学、ミシガン大学、京都大学、京都市立芸術大学など国内外の研究機関や研究者らとともに展開している。

京都市美術館

京都市左京区岡崎円勝寺町一・二・四(岡崎公園内)



- JR・近鉄京都駅前[A1のりば]から市バス5番岩倉行、[D1のりば]から市バス100番銀閣寺行、「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車
 - 阪急河原町駅、京阪三条駅から市バス5番岩倉行、「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車
 - 地下鉄東西線「東山駅」下車徒歩10分
- ※専用駐車場はございませんので、岡崎公園内の市営駐車場(有料)をご利用下さい。

問い合わせ先/PARASOPHIA事務局
電話 075(257)1453 ファックス 075(257)1454
メール info@parasophia.jp